

バードバス（商品番号：BB006）取り扱い説明書

1. バードバスとは

人間が毎日お風呂に入るように野鳥も水浴びが大好きです。身体についたダニなどを水浴びして落とします。通常は川の浅瀬や雨水の水たまりなどを利用しますが、バードバスはその代用です。また人間は水を飲まなければ生きていきませんが、野鳥も一緒です。バードバスは野鳥の水飲み場でもあります。



2. バードバスの機能・仕様について

- ・本製品は野鳥の水浴び・水飲み用の水を入れるための皿と、皿を支えるための支柱と脚からなります。
- ・野鳥が天敵であるネコなどに襲われにくいよう、支柱により木皿の位置を地面から離してあります。
- ・サイズ：皿直径 235mm、脚幅 248mm、高さ 550mm、パイプ直径 28mm
- ・材質：皿（陶器）、支柱・脚パイプ（鉄、被覆：プラスチック）
ジョイント部（プラスチック）

3. バードバスの設置場所

- ・野鳥がバードバスで水浴びをしたり水を飲んだりしているときは無防備な状態にあり、ネコやタカなどの天敵に襲われた場合、直ぐに避難する必要があります。近くに樹木があれば、その木陰に直ぐ避難することができます。
- ・従いまして、近くに何も無い芝生の真ん中などに設置するのではなく、庭の脇の樹木の下あたりがよいでしょう。
- ・野鳥は通常、開けた空間からバードバスの近くの樹木の枝に止まり、付近の安全を確認した後、バードバスに降り立ち、水浴びや水飲みをします。
- ・従いまして、バードバスは樹木の密集した中ではなく、開けた空間と樹木帯の境目あたりに設置すると野鳥が利用しやすくなります。
- ・屋内から窓を通して見える場所にバードバスを設置すると、野鳥を驚かすことなく水浴びや水飲みをする野鳥を観察することができます。
- ・ベランダの場合は、なるべく外側に近い開けた場所に設置します。
- ・設置場所が決まりましたら、脚の下に小石を挟むなどしてバードバスの皿を水平に保つように設置してください。
- ・マンションなどのベランダにバードバスを設置する場合、やってきた野鳥の糞で周りの方の洗濯物や車などが汚れてしまう可能性があります。十分注意してください。

4. バードバスの維持

- ・人間が一番風呂に入るのが気持ちいいように、野鳥も利用するバードバスの水は新しいものを好みます。バードバスの皿の水は毎日取り替えてあげましょう。
- ・バードバスを設置したからといって直ぐに野鳥が利用するとは限りません。野鳥にとって突然現れたバードバスには警戒心を抱きます。毎日水を取り替え、じっと待ちましょう（我が家の場合、バードバスを設置してから利用してもらえらるまで2週間程度かかりました）。
- ・野鳥がバードバスで水浴びや水飲みしている現場を目撃しなくても、皿の水を交換する際、水面に油状のものが浮いていれば野鳥がバードバスを利用した証拠です。水面に浮いている油状のものは、野鳥の糞です。ヤッターと思う瞬間です。

5. バードバスの楽しみ方

- ・バードバスで水浴びや水飲みをする野鳥を眺めることは楽しいものです。毎日観察をしていると野鳥がバードバスを利用する時間帯も、早朝、昼過ぎ、夕方と見えてきます。
- ・バードバスを利用する野鳥も地域や周りの環境によって違いがあります。我が家では、ヒヨドリ、ヤマガラ、スズメ、シジュウカラ、メジロが利用しています。
- ・利用の順番もあります。ヒヨドリ、ヤマガラ、スズメ、シジュウカラ、メジロと力の強いものから利用していきます。夏の暑い日中など、バードバスの脇のエゴノキの枝には順番を待つ野鳥の行列ができます。

6. 環境からみたバードバス

- ・都市周辺部では、河川は3面張りのコンクリートで覆われ、また道路はアスファルトで覆われ野鳥が水浴びや水飲みをする川の浅瀬や雨水の水たまりは少なくなってきています。
- ・そのため、その代用として庭やベランダにバードバスを設置することは野鳥が生きていくために必要な生息条件（水浴び）、水条件（水飲み）を満たす場所を提供することになり、野鳥の活動範囲を広げることにつながります。
- ・野鳥が生息していくためには、その行動範囲内に採食場所、水飲み場、水浴び場、休息場所、営巣場所がある必要があります。どれかひとつ欠けても野鳥はその場所では暮らして行けません。
- ・従いまして、みなさんが庭やベランダなどにバードバスを設置することで野鳥の水飲み場、水浴び場を提供することになりますが、設置したバードバスを中心とした野鳥の行動圏内に採食場所、休息場所、営巣場所がなければ野鳥が設置したバードバスにやってくる可能性は低くなります。
- ・設置したバードバスに野鳥がやってくる確率を高めるためには、採食場所としてのバー

ドフィーダーの設置、休息場所としての樹木の植栽、営巣場所としての巣箱の設置や樹木の植栽が有効です。

- ・多くの方々が庭やベランダなどにバードバスやバードフィーダーなどを設置することで、その地域の野鳥の暮らしやすさは向上していきます。
- ・庭やベランダへのバードバスやバードフィーダーの設置など人為的な行為はすべきでないといった意見の方もいらっしゃるかと思います。しかし野鳥たちが暮らす環境が減ってしまった原因を考えてみてください。人類の数（人口）が増え、その行動範囲が広がり、住宅確保や食料調達などのために、森林破壊や土地改良を繰り返してきました。すべて人為的の行為です。人為的の行為で破壊した自然を元に戻すためには、放置しておいてはなかなか元には戻りません。人為的の行為で自然の再生を手助けしてあげる必要があります。
- ・開発された都市近郊の場所を元の森林や草原に戻すことは困難です。なぜならそうすると私たち人類が暮らしていけなくなります。しかし庭やベランダへのバードバスやバードフィーダーの設置などの人為的な行為により、野鳥が棲みやすい環境を創りだすことはできます。

7. みなさまからの情報をお寄せください

- ・設置したバードバスに野鳥がやってきましたら以下の情報を是非こちらへ連絡ください。
 - ・日時
 - ・場所
 - ・野鳥の種名（シジュウカラなど。わからない場合は大きさ（スズメ大など）、色などの特徴をお知らせください）
 - ・野鳥の行動（水を飲んでいたり、水浴びをしていたなど）

以下のホームページなどで情報共有を図っていきたいと思います。

以上



Ver. 1.5 2017年8月16日

発行 畠山環境技術士事務所

〒256-0802 神奈川県小田原市小竹822-101

Tel:0465-43-4109

e-mail: bird.hatakeyama@jcom.zaq.ne.jp

<http://birdtherapy.jimdo.com/>